

## 競 技 注 意 事 項

### 1 競技規則について

本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項、競技注意事項および申し合わせ事項を適用する。ただし、競技規則第165条5は適用しない。

### 2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は補助陸上競技場を使用することを原則とする。ただし砲丸投の練習については、投てき場のみとする。各練習場での練習は係員の指示にしたがって行うこと。棒高跳については招集時刻を早く設定し、競技場内にて競技開始前の練習時間を確保する。
- (2) 競技場及び補助陸上競技場は全天候舗装につき、スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし走高跳は12mm以内とし、スパイクピンの先端の直径は4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 更衣は競技場内の男女更衣室を、原則として雨天時のみ開放する。それ以外で使用を希望するものは、大会本部役員に申し出て許可を得るものとする。貴重品は各自で管理すること。
- (4) 救護室は、競技場内中央の役員室隣に設置する。

### 3 競技者の招集について

- (1) 招集所は、競技場第2コーナー(1500mスタート付近ゲート)外側に設置する。なお招集所に入場できるのは、招集を受ける選手のみとする。
- (2) 招集完了時刻は、その競技開始時刻を基準として以下のとおりとする。

種 目	ナンバーカード等の確認時刻		招集完了時刻
	予選	準決勝・決勝	
トラック種目	30分前	25分前	20分前
リレー(準決勝・決勝)	/		20分前
リレー(予選)	1~3組	30分前	20分前
	4~6組	15分前	5分前
走高跳・走幅跳	50分前	45分前	40分前
砲丸投	/		40分前
	/		35分前
棒高跳	90分前		80分前
四種競技	トラック	25分前	20分前
	フィールド	45分前	40分前

#### (3) 招集の手順

- ① 競技者は予選は招集完了時刻10分前までに、準決勝・決勝は招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場すること。携帯電話や通信機器および音楽再生機器等は持ち込めない。
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ③ 四種競技者は、その日の最初の種目のみ招集所で(3)の①にしたがい競技者係の点呼を受けるが、以後の2番目の種目は、第2コーナー(1500mスタート付近ゲート)外側に設置した四種競技招集テントで競技者係の点呼のみを受けること。
- (4) リレーのオーダー用紙は、予選・準決勝・決勝とも、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。怪我等による選手の交代は、招集完了時刻までに大会総務が任命した救護員の判断がない限り認められない。救護員の判断による変更は、出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。また、招集完了時刻前であっても、一度提出した編成の変更(オーダー用紙の差し換え)は認められない。

- (5) 競技への出場を欠場(棄権)するときは、招集完了時刻5分前までに競技者の所属する中学校の監督が確認した旨を所定の用紙に記入し、競技者係に提出すること。なお用紙は招集所に用意する。

#### 4 競技運営について

- (1) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は全て失格とする。
- (2) 本競技会において、競技規則第162条5は適用しない。スタート時における不適切行為(162条5a. b. c)発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。
- (3) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (4) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技について試技順はプログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (5) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンを空ける。
- (6) 計時は、原則として電気計時(写真判定による1/1000秒)とする。
- (7) タイムにより次のラウンドの出場者を決めるときに同記録者があり、レーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は、本人もしくは監督による抽選とする。
- (8) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は、リレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して2人以内に限り他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、競技規則によりチームは失格となる。
- (9) リレー競技においては、その学校の同一ユニフォームを着用すること。
- (10) リレー競技のマーカー使用については競技規則を適用し、大きさが50mm×400mm以内の粘着性のテープ1カ所の使用を認める。マーカーは各校で用意し、使用後はそのチームで処理すること。
- (11) 短距離種目では、事故防止のためフィニッシュライン到着後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (12) 男子3000m予選はグループスタートとする。危険防止のため、第2グループのスタートラインから10mは代用縁石を置かない。
- (13) フィールド競技の予選において、1組はAピット、2組はBピットで競技を行う。
- (14) 競技場およびピットでの競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行う。
- (15) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技の試技順を変更することができる。
- (16) トラック競技において、決勝で4着同着者が出た場合、およびフィールド競技の決勝において同記録の4位が複数名出た場合、東北中学校陸上競技大会出場権保有者決定のため、出場者決定レースおよび出場者決定試技を行う。
- (17) 競技者は、その競技をするとき以外はトラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (18) 競技者に対する助力については、競技規則を適用する。観客席にコーチ席は設置しないが、競技の進行を妨げないよう留意すること。
- (19) 抗議は、競技規則によって定められた時間内に各校の監督者が行うこと。なお抗議受付窓口は競技場大会本部に設けるので、係員に申し出ること。この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて審判長に文書で申し出ること。

#### 5 競技場の入退場について

- (1) 競技者の入退場は、すべて競技役員の誘導による。
- (2) リレー走者の一部を除き、走り終わった競技者はフィニッシュ側後方ゲートより退場すること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

## 6 ナンバーカードについて

- (1)男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。腰ナンバー標識は白地に黒文字とする。
- (2)ナンバーカードは一人2枚配布する。ナンバーカードは配布されたままの大きさと、ユニフォームの胸と背にはっきりと見えるように付けること。なお跳躍種目(四種競技の走高跳含む)の競技者は、胸または背に付けるだけでよい。
- (3)トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識をランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。腰ナンバー標識は粘着性のものを競技者係が配布する。使用後は各自で廃棄すること。

## 7 予選通過標準記録について

棒高跳を除くフィールド競技の予選通過標準記録は次の通りとする。

	走高跳	走幅跳	砲丸投
男子	1m57	5m80	9m50
女子	1m38	4m70	9m30

上記の種目で予選通過標準記録をこえた者が12名に満たなかった場合は、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者がいた場合は、競技規則に基づき進出者を決定する。

なお予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り当該審判長の判断により変更されることがある。

## 8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

### (1) 予選

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m48・1m55	1m51 - 1m54 - 1m57
	女子	1m25	1m30 - 1m35 - 1m38

### (2) 決勝

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m50・1m70	1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70 - 1m73 - 1m76 - 1m79 …
	女子	1m30	1m35 - 1m40 - 1m45 - 1m48 - 1m51 - 1m54 - 1m57 …
棒高跳	男子	2m40・3m00	2m60 - 2m80 - 3m00 - 3m10 - 3m20 - 3m30 - 3m40 …
四種競技 走高跳	男子	1m35	1m40 - 1m45 - 1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m68 …
	女子	1m15	1m20 - 1m25 - 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m43 - 1m46 …

①走高跳及び棒高跳で上記以後の高さは、最後の一人になり優勝が決まるまでは走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみとする。

②第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cmきざみとする。

③棒高跳の支柱移動申請書は提出しない。競技開始前に跳躍場にて競技役員に直接申し出ること。

## 9 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技場所で競技役員から検査を受け、合格したものに限り。

## 10 表彰について

- (1)各種目の表彰は決勝終了後、準備が整いしだい直ちに行う。1位から6位の入賞者は競技役員の指示に従い、メインスタンド中央下の表彰者控え所にて待機する。
- (2)競技3日目の次の種目の表彰は、以下の通りとする。
  - ・男女2年100m、男女3年100m、男女共通ハードル …男子共通400mリレー終了後(13:40)
  - ・男女低学年400mリレー、男女共通400mリレー …閉会式にて(14:30)
- (3)各種目の6位までの入賞者に賞状を授与する。
- (4)リレーの優勝チームには優勝杯を、チーム全員に賞状を授与する。優勝杯は持ち回りとする。
- (5)学校対抗では、男女の各優勝校に優勝旗、6位までの入賞校に賞状を授与する。

## 11 商標について

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を順守すること。
- ① 上半身の衣類…製造会社のロゴの大きさは、四角形の面積 $30\text{cm}^2$  以内、文字は縦 $4\text{cm}$ 以内、ロゴ全体では縦 $5\text{cm}$ 以内とする。製造会社の表示は1カ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は $40\text{cm}^2$  以内とする。
  - ② 下半身の衣類…製造会社のロゴは、大きさは四角形の面積 $20\text{cm}^2$  以内、文字は縦 $4\text{cm}$ 以内のものを1ヶ所とする。
  - ③ バッグ…製造会社のロゴは2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は、 $25\text{cm}^2$  以内のものとする。
- (2) 競技役員から指摘された場合は、その指示に従うこと
- (3) 詳細については「競技会における広告および展示物に関する規程」を参照すること。

## 12 開会式・閉会式について

開会式は7月14日(土)9:30より行う。

閉会式は7月16日(月)競技終了後、14:30(予定)より引き続き行うので、競技場内メインスタンド前トラック走路に学校別に集合整列すること。

## 13 会議・打ち合わせ

	14日(土)	15日(日)	16(月)	場 所
専門委員長会議	7:30	7:30	7:30	室内走路
監督会議	8:30	8:15		
引き続き 競技役員打合せ	8:30	8:15	8:15	

## 14 その他

- (1) テントは郡市ごとに、割り当てられた場所に設置する(プログラム参照)。メインスタンド内に日除け用にテント類を設置することはできない。なお、テントは縦に張るなど周囲に配慮すること。

第1-第2コーナー間	大館北秋田・能代市・山本郡
第2-第3コーナー間	大曲仙北・横手市・湯沢雄勝・男鹿潟上南秋・本荘由利
第3-第4コーナー間(3~)	秋田市
第3-第4コーナー間(4~)	鹿角

設置する際は、ロープ等を通路や手すり、ベンチにつなぐ等はしないこと。なお運動公園内の芝生等へのテント設営は可能だが、ペグでの設置には十分注意し撤収等に配慮すること。

- (2) 横断幕・のぼりの設置場所は、メイン・サイド・バックスタンドとも、最上段の手すり、またはフェンスとする。設置の際は通行の妨げにならないよう十分配慮すること。
- (3) 参加各校とも、選手の健康管理と事故防止には十分配慮すること。
- (4) 場内でのマナーに関して、各校で指導を徹底すること。
- ① 本部前、メインスタンド下の通路は、関係者以外立ち入り禁止とする。
  - ② 選手の付き添いは、競技場内へは立ち入りを認めない。
  - ③ トラック競技においては競技種目並びに出場選手紹介のアナウンスがあり次第、フィールド競技においては試技を開始しようとしている競技者がいる場合、応援を自粛する。
  - ④ メインスタンド内において、出入り口付近、通路、最前列の手すり付近に立って応援することは禁止する。またサイド・バックスタンドから競技場内に降りての応援も厳に慎む。競技進行の妨げになるような応援は慎むこと。
- (5) 競技場内に降りての写真撮影(卒業アルバム用も含む)は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。撮影者は、許可を得ていることが明確にわかるような証を身に付けること。

- (6) ゴミは各校持ち帰りを原則とするが、事情に応じて配慮する。なおゴミ袋は大会本部に準備する。  
各校の清掃割り当ては以下のように定める。各郡市で清掃箇所を分担し、全参加校とも協力すること。

14日(土)	県南地区
15日(日)	県北地区
16日(月)	中央地区

- (7) 本競技場、補助陸上競技場、投てき場の練習時間は以下の通りとする。

	本競技場	補助陸上競技場	投てき場
13日(金)	13:00~16:30	13:00~16:30	13:00~16:30
14日(土)	開放しません	7:30~18:00	7:30~18:00
15日(日)		7:30~18:00	7:30~18:00
16日(月)		7:30~14:00	7:30~11:00

用器具の使用は、いずれも終了時刻の30分前までとする。

- (8) 本競技場、補助陸上競技場の練習レーン区分は、プログラム(練習場所区割)を参照すること。

- (9) 補助競技場の練習については、以下の通りの優先練習時間を設定する。

【走高跳】	優先練習時間	
14日(土)	8:30~9:30	男子
	10:30~11:30	女子
	12:00~13:30	男子
15日(日)	7:30~9:00	女子
	10:00~11:00	男子
	11:00~13:00	女子

- (10) ナンバーカード、プログラムの配布は以下の通り行う。

13日(金)	14:00~	競技場内役員室
14日(土)	7:30~	" 事務室
15日(日)	7:30~	" 事務室

- (11) プログラムの訂正は、本部にある訂正用紙を用いて大会本部に申し出ること。

13日(金)	15:00~17:00
14日(土)	7:30~8:30
15日(日)	7:30~8:30

- (12) 東北大会の申込み、全国大会の確認等は、出場権獲得者の当該校の監督または引率者が県中総体大会期間中に責任をもって行うこと。

- (13) リレー監察

第2コーナー(第一走者から第二走者) 大館北秋田・能代市・山本郡・秋田市

第3コーナー(第二走者から第三走者) 大曲仙北・横手市・湯沢雄勝

第4コーナー(第三走者から第四走者) 鹿角・男鹿潟上南秋・本荘由利

- (14) スタンドの利用

サイド、バックスタンドへの学校テント等の設置、控え場所等の確保については次の通りとする。

7月13日(金) 12:00から入場および設置可能とし、16日(月)競技終了までとする。

- (15) 補助員について

秋田市内中学生で編成する。補助員控え場所を競技場メインスタンド裏のコンコースに設置する。